



平成25年度京都大学防災研究所共同研究「台風研究会」のご案内
 「台風災害の発生メカニズム解明と減災に関する研究集会
 ―気象学・風工学・土木工学・情報学・報道を交えて―」

2011年（平成23年）の台風第12号と15号では、90人以上の死者・行方不明者が出てしまいました。台風は現在でも、社会生活に大きな脅威をもたらす自然現象であることには変わりはありません。最近の科学技術の進歩により台風進路予報の精度が向上してきたにもかかわらず、なぜこれほどまでの甚大な台風災害が起きてしまうのでしょうか？ 異分野の研究者が集い、それぞれの視点からの研究成果を交わすことで、近年の台風災害メカニズムの解明と被害低減の方策・展望を提案することを目的とします。

研究代表者：筆保弘徳（横浜国立大学教育人間科学部）
防災研担当者：林 泰一（京都大学防災研究所流域災害研究センター）、竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）

主催：京都大学防災研究所

日時：2013年9月9日（月）、10日（火）

場所：京都大学宇治構内 共通遠隔会議室 HW401
 （JR 奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅 徒歩約10分）

講演ご希望の方は、2013年7月16日（火）までに、演題、発表者などの情報をお申し込みください。旅費の支給をご希望の方はその旨もお知らせください。旅費については、必ずしもご希望にそえるとは限りませんがご了承ください。

参加のみご希望の方も同様に、2013年7月16日（火）までにご連絡ください。なお、旅費支給は講演者を優先いたします。

申し込み先：筆保弘徳 fude@ynu.ac.jp